令和2年度　当初予算要求の概要

局・区名	建設局	要求総額	22,096　百万円

（対前年度予算　▲　33.8　%）

局区予算要求方針

建設局では全国的に増加傾向にある台風を始めとした自然災害から、市民の皆さんの生命・財産を守るため、防災、減災に向けた取組を引き続き推進していきます。また、ＩＣＴの活用を図り、道路施設等の効率的な維持管理を図るとともに、民間活力を活かし、公園施設等の管理を推進するほか、本市の更なる発展に向けた都市魅力の向上につながる事業を推進していきます。
　行財政改革では、令和２年度夏開設予定の原山公園のネーミングライツの導入への取組の推進等により財源確保に努めるとともに、既存事業の見直しによりコスト削減に努めます。

※ 給料、職員手当、共済費等各局で要求しないものは除く

重点的に取り組むもの

【※　◎は新規事業、○は拡充事業】

１　ＩＣＴを活用した道路施設等の維持管理

要求額

◎　道路等通報システム開発保守管理　　2 百万円

取組内容　道路及び公園施設の不具合に関する市民の苦情・要望に対し迅速な対応を図るため、LINEを活用した道路等通報システムの新規導入に取り組みます。

◎　道路構造物のシステムを活用した効率的な維持管理の推進　　9 百万円

取組内容　平成26年度より義務化された法定点検に伴い、今後ますます増加する道路構造物の点検データ等について、大阪府が構築した「都市基盤施設維持管理データベースシステム」の活用により効率的な維持管理を推進します。

２　民間活力を活かした公園管理等の推進

○　パークマネジメントの推進　　42 百万円

取組内容　公園の賑わいや魅力創出を図るため、都市公園の特性に応じた管理運営手法を検討し、民間活力導入等に向けた取組を進めます。なお、金岡公園については、老朽化した屋外プールの建替えや新たな市民ニーズに対応した公園の再整備と運営手法について検討し、公園全体の活性化を進めます。

○　原山公園再整備運営事業　　1,744 百万円

取組内容　原山公園の活性化と栂・美木多駅周辺の賑わいの創出に寄与するため、令和2年度夏の公園施設の開園に向け、PFI手法を活用した再整備及び運営の取組を進めます。

◎　公園墓地のあり方についての検討　　6 百万円

取組内容　近年の社会構造の変化に伴い多様化する墓地ニーズに対し、将来的に安定した墓地運営を行うため、合葬式墓地の新設などを含めた堺公園墓地のあり方についての検討に取り組みます。

３　都市魅力の創造に資する事業の更なる推進

○　南海高野線連続立体交差事業　　102 百万円

取組内容　踏切による渋滞の解消とともに、本市の玄関口にふさわしい市街地形成の推進のため、令和2年度の都市計画決定に向け、環境影響評価や都市計画の手続きに引き続き取り組みます。

○　大和川沿川整備事業　　324 百万円

取組内容　今年度末に全線開通する阪神高速道路大和川線の上面等を活用し、公園の整備や広域サイクルルートの形成に資する自転車通行環境等の整備に取り組みます。

４　防災・減災に向けた取組の更なる推進

○　無電柱化の推進　　42　百万円程度

取組内容　近年被害の甚大さが増す台風や大規模地震時の電柱倒壊による、避難や緊急車両の通行、救急活動、物資支援などの阻害を防ぎ、都市防災機能を確保するため、今年度策定予定の無電柱化推進計画に基づき、無電柱化に向けた取組を進めます。

行財政改革の項目

1　歳入の確保

効果額

◎　ネーミングライツの取組の推進　　2 百万円

取組内容　施設運営等の安定した財源確保を図るため、原山公園のプール等施設や歩道橋の呼称を命名する権利を付与する民間事業者の募集に取り組みます。

◎　自転車等駐車場の壁面を活用した民間広告物の募集　　0.3 百万円

取組内容　利用者の多い自転車等駐車場の壁面を有効活用し、民間広告物を募集を図り、広告収入等の確保に取り組みます。

○　都市計画道路予定地等の活用　　5 百万円

取組内容　事業の実施に一定の期間を要する路線において、未利用となっている予定地等について、民間への暫定貸付を行い、有効活用を図ります。

2　歳出の削減

◎　地域整備事務所他における電力一般競争入札　　4 百万円

取組内容　各地域整備事務所他で使用している電力供給について一般競争入札を行い、電力使用料の歳出縮減に取り組みます。

○　さかいコミュニティサイクルの管理運営の見直し　　1.5 百万円

取組内容　コミュニティサイクルのポート管理運営業務の見直しを行うことにより歳出縮減に取り組みます。